

## あすがくの結果をのぞき見

のばしたい  
ココロ(非認知能力)  
を質問します。



あなたがこれから、最も伸ばしたいと考えるココロを1つ選びなさい。

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 1 おちつく  | 慌てていても、やるべきことを落ち着いて取り組もうとするココロ    |
| 2 ねばる   | 取り組みに良い結果が出なくても、最後までやり続けようとするココロ  |
| 3 きりかえる | 思い通りにならなくても、前向きに気持ちで行動しようとするココロ   |
| 4 いどむ   | はじめてのことでも、まずやってみよう！と挑戦しようとするココロ   |
| 5 しんじる  | 自分に自信をもって力を発揮しようとするココロ            |
| 6 たのしむ  | 何事でも、興味がある部分を見つけ、楽しく取り組もうとするココロ   |
| 7 つながる  | 物事をすすめるとき、他者の意見も聞いて、決定していこうとするココロ |

お子様の普段の生活とあすがくの結果を見比べることで、何を大事に思っているか、どんな力をのばしたいのか、を的確に知ることができます。また、のばしたいココロをのばすアドバイスもお伝えします。



### のばしたいココロの結果

**あなたが選んだのばしたいココロ**

**きりかえる**

●自分のたいとを、安定なようたにたもつことができます。不安を感じたときにも冷静さをたもち、問題をかいけつする力があります。このようなココロは、周りに人にも良いいきょうをあたえます。(おちつく)

●問題やむずかしいことに直面したときに、ひてい的な気持ちにとられず、前向きなしえいで新しい考え方にかりかえることができます。また、さまざまな場面であううなんに行動することがあります。(きりかえる)

**きりかえるココロをのばすには**  
立ち直れないとき、まわりの人に相談してみよう。相談することで、立ち直るための元気がもらえて気持ちが切りかえやすくなるよ。

**あなたが選んだのばしたいココロ**

**たのしむ**

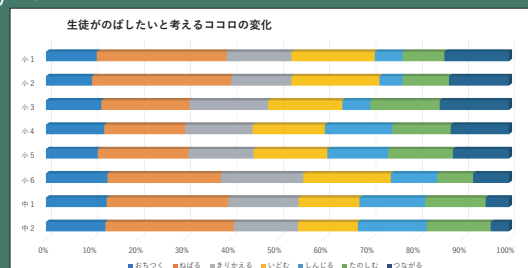
●自分自身の長所やみりよくを信じていることができます。信じてるココロをもつことで、むずかしいじょうきょうでも、前向きにきりかえむ力が生まれ、自分や他者への信らい感が強まります。(しんじる)

●新しいことにちようせんする勇氣をもっており、むずかしいことや失敗をおそれずに前進する意があります。このココロをもつことで、成長をうながし、目標達成に向けて努力することができます。(いどむ)

**たのしむココロをのばすには**  
自分の好きなことをする特定の時間をつくるう。読書、絵をかくなど、何でも良いので、心から楽しめる活動を見つけてね。

### ココロをのばすためのアドバイス

## 2024 春に実施した集計結果をお見せします !!



のばしたいココロの変化(推移)

お子様が一番ののばしたいと考えているココロは…  
「ねばる」ココロが圧倒的に多いという結果が出ています !!

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
第1位	ねばる	ねばる	ねばる	ねばる	ねばる	ねばる	ねばる	ねばる
第2位	いどむ	いどむ	きりかえる	いどむ	いどむ	いどむ	きりかえる	しんじる
第3位	つながる	つながる	いどむ	しんじる	きりかえる	きりかえる	たのしむ	きりかえる



## 実施概要

	春実施	秋実施
小1	小学校入学前まで	小1 7月まで (国語・算数・生活など)
小2	小1まで (国語・算数・生活など)	小2 7月まで (国語・算数・生活など)
小3	小2まで (国語・算数・生活など)	小3 7月まで (国語・算数・理科・社会など)
小4	小3まで (国語・算数・理科・社会など)	小4 7月まで (国語・算数・理科・社会など)
小5	小4まで (国語・算数・理科・社会など)	小5 7月まで (国語・算数・理科・社会・英語など)
小6	小5まで (国語・算数・理科・社会・英語など)	小6 7月まで (国語・算数・理科・社会・英語など)
中1	小6まで (国語・算数・理科・社会・英語など)	中1 7月まで (国語・数学・理科・社会・英語など)
中2	中1まで (国語・数学・理科・社会・英語など)	中2 7月まで (国語・数学・理科・社会・英語など)

対象学年	小学1年生～中学2年生
実施時間	「学ぶ力・学んだ力」調査 全学年 40分 「学ぼうとする力」調査 全学年 10分



お申し込みは塾へ

詳しくはWEBへ! <https://asu-gaku.com>



自分に合った勉強方法を見つけよう!

# 「明日の学力」診断

実施

年2回(春・秋)

対象学年

小学1年生

中学2年生

## 「学ぶ力・学んだ力」調査

思考力・判断力・表現力

## 「学ぼうとする力」調査

非認知能力・学習状況



思考力・判断力・表現力と非認知能力の

2つの調査をもとに**お子様に合う学習方法をアドバイス**します。



学力をのばすための勉強方法を具体的に教えてくれる新しいテストです。

# 「学ぶ力・学んだ力」調査



Q どのような問題がですか？

A 教科書の枠にとらわれない出題内容で知識のみでは解けないような思考力・判断力・表現力が必要とされる問題を出題します。



## 〈小5の問題例〉

近年、ある町は、観光地として人気となり、外国人観光客も多く来ています。そこで、町の商店街の人たちは、外国人観光客に自分たちの店に来てもらいたいと考えました。次の商店街の人の話を参考にして、あとの問題に答えましょう。

### ①そば屋の店主

この地域には、ほかにレストランはないから、お昼を、ぜひうちで食べてもらいたいんだ。でも、そばの食べ方を外国の人は知らないんじゃないかな。ずるずるって食べるのをいやがる国の人もいるみたいだしね。



### ②文房具店の店主

この商店街のどこにどんなお店があるのか、ほかから来た人にはわかりにくいと思うよ。外国の人に道をたずねられても、言葉がわからないから、案内できないしね。



問題 あなたが①または②の店主だとしたら、外国人観光客に来てもらうために自分のお店や商店街にどんな工夫をしますか。①、②のどちらか一人を選び、その人の立場に立って工夫を書きましょう。

## 〈解答例〉

### 解答例1

記号 ①（そば屋の店主を選択）

- ・外国の人はそばの食べ方のマナーやおはしの使い方を知らない人が多いので、そばの食べ方を外国語で説明したパンフレットをつくって店に置く。
- ・外国の用にフォークを用意する。

など

### 解答例2

記号 ②（文房具屋の店主を選択）

- ・外国の人がまよわないように、いろいろな国の言葉で店をしょうかいしたかんばんを商店街の入り口にたてる。
- ・商品を英語などの外国語でも説明する。

など

答えが一つではない問題で思考力や表現力を確かめます。



Q どのように採点されますか？

A 答案には○×だけでなく1問ずつアドバイスが付きます。記述が足りない部分や理解が間違っている部分には丁寧なアドバイスが付くので、問題の理解や次回へのやる気につながります。



できている問題には褒めるコメントが付きます。お子様の得意を見つけることができます。

丁寧な採点で  
お子様の  
解答に即した  
具体的な  
アドバイスを  
します。



学ぶ力・学んだ力									
学力	理由	採点	アドバイス	学力	理由	採点	アドバイス	学力	理由
80点	B	71点	53.5点	100点	8点				
69点	C	57点	40.2点	204点	15点				
90点	A	58点	55.1点	680点	5点				
86点	B	69点	52.5点	1480点	11点				
76点	B	65点	53.3点	1700点	13点				

▲あすがく結果資料

知識・思考力・判断力・表現力がどのくらい身に付いているかを点数で可視化します。



# 「学ぼうとする力」調査



Q どのような調査ですか？

A アンケート形式で、学習・生活習慣や今注目の非認知能力を見える化します。



(1) ゲームなど好きなことをしていても、おもしろいレベルのものにぶつかったとき、あなたならどうしていますか。

1 最後まで自分の力でやってみる 2 できるだけ自分の力でやってみる

3 と途中であきらめてしまう 4 すぐにあきらめてしまう

(2) 好きな授業の問題で、おもしろい問題にぶつかったとき、あなたならどうしていますか。

1 最後まで自分の力でやってみる 2 できるだけ自分の力でやってみる

3 と途中であきらめてしまう 4 すぐにあきらめてしまう

(3) 苦手な授業の問題で、おもしろい問題にぶつかったとき、あなたならどうしていますか。

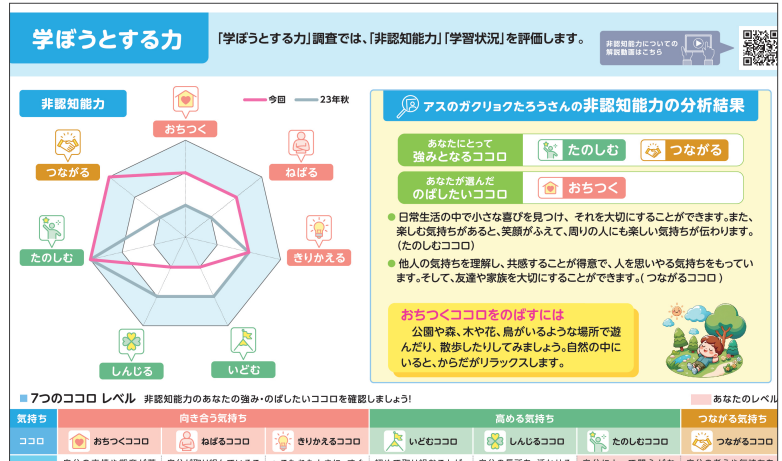
1 最後まで自分の力でやってみる 2 できるだけ自分の力でやってみる

3 と途中であきらめてしまう 4 すぐにあきらめてしまう

▲調査用紙



お子様の物事に取り組む姿勢などを把握することができます。



▲あすがく結果資料

結果資料には、お子様の強みを活かした具体的な学習アドバイスがあります。



## 学力向上のカギは非認知能力にあり

みなさんは子どもの頃に「『○○な心』を持ちましょう」と言われたことはありませんか？ この「○○な心」ですが、最近は「非認知能力」と呼ばれて注目を集めています。簡単に言ってしまうと、点数で測定できる学力のような力が認知能力で、「心」のように点数化できない私たちの内面にある力が非認知能力です。

最近はAI(人工知能)がかなり発達したり、世の中で思いもよらないことが起こっていたりという時代なので、これまで以上にこの非認知能力が必要だよね…と強く求められ始めています。だから、最近よくこの言葉が登場するんです

よね。また、非認知能力が伸びることで認知能力も伸ばしやすくなるということですが、様々な研究結果から明らかにされてきました。

そこで「あすがく」です。「あすがく」では、お子様の非認知能力について把握することができます。いまの自分の状態がわかれば、これからどの力を伸ばしていきたいのかもはっきりしてくるのでオススメです。何となく非認知能力は自分で伸ばしていこうという意識が大切になります。お子様がいまの自分を知って、伸ばしたいという意識を持てるようにするために「あすがく」をご活用ください。



中山 芳一先生

岡山大学准教授、専門は教育方法学。小中高の校種を超えて、現場の先生方と協働して認知能力と非認知能力の一体的な育成のために注力している。また、子どもたちや保護者の方々を対象に講演も多数行っている。